

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・校内研究(算数)を中心とした授業実践を通して、学習指導要領に根ざした学びやその指導法、学習過程等の共通理解を図ることができた。より一層の基礎学力の定着と活用する力の育成、および、「学び合い」に対する理論研究、共通理解とそれらを取り入れた授業展開の工夫等、更なる深化を図ってきたい。

2 学校教育目標
自ら学び、たくましく、心豊かな児童の育成 ～ 校訓: 『心 きびきび 精一杯』 ～

3 本年度の重点目標
①「わかる授業」を基盤とした基礎的基本的な学習内容の確実な定着(日常の授業と家庭学習の連動)
② 学校及び家庭の教育力を高める組織的な教育相談体制の確立と個別の支援体制の充実(いじめの未然防止等を含む)
③ 運動の楽しさを実感できる体育学習の充実と運動の日常化(体つくりの奨励等)

4 重点取組内容・成果指標

Table with 5 main columns: (1)共通評価項目, 中間評価, 5 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. It contains detailed evaluation data for various categories like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', and '業務改善・教職員の働き方改革の推進'.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
Table with 5 main columns: 重点取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. It details specific evaluation items like '教員の専門性と意欲の向上' and '特別支援教育の充実'.

5 総合評価・次年度への展望
・校内研究(算数)を中心とした授業実践を通して、学習指導要領に根ざした学びやその指導法、学習過程等の共通理解を図ることができた。成果と課題を明確に整理し、基礎学力の定着と活用する力の育成に向けて、「学び合い」を取り入れた学習活動を実践するとともに、他教科、領域への活用を図ってきたい。